

# 1 自己認識

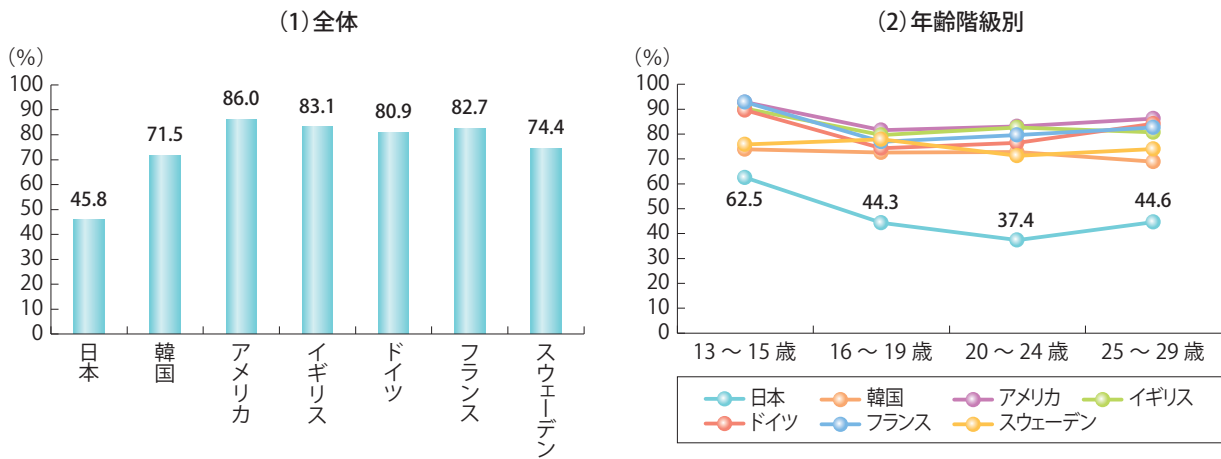
まず、今の日本の若者が自分自身をどう捉えているのかについて、自己肯定感、意欲、心の状態、社会規範、社会参加、将来像という観点からみる。

## (1) 自己肯定感

日本の若者は諸外国と比べて、自己を肯定的に捉えている者の割合が低く、自分に誇りを持っている者の割合も低い。

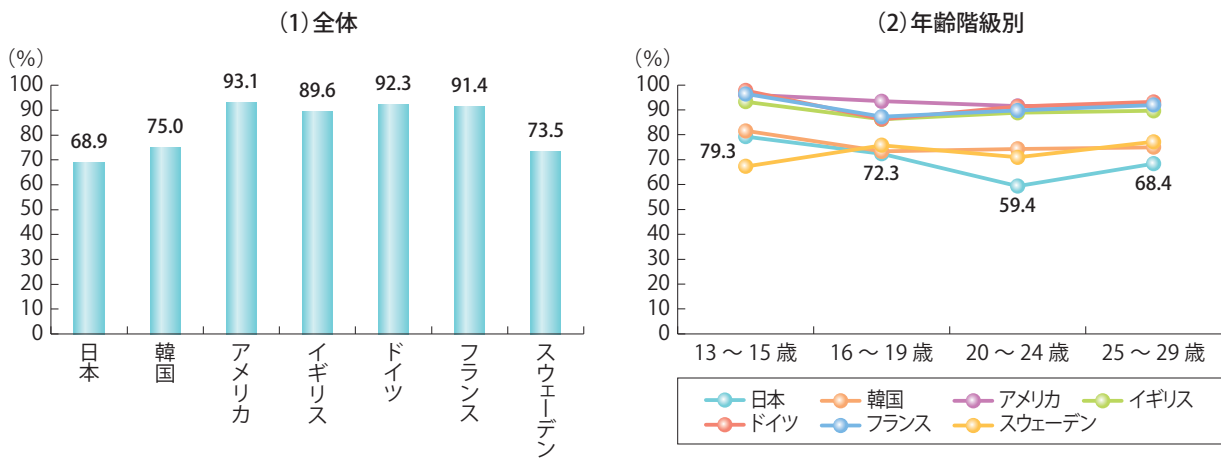
日本の若者のうち、自分自身に満足している者の割合は5割弱、自分には長所があると思っている者の割合は7割弱で、いずれも諸外国と比べて日本が最も低い。年齢階級別にみると、特に10代後半から20代前半にかけて、諸外国との差が大きい。(図表2, 3)

図表2 自分自身に満足している



(注) 「次のことがあなたがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「私は、自分自身に満足している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表3 自分には長所がある



(注) 「次のことがあなたがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「自分には長所があると感じている」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

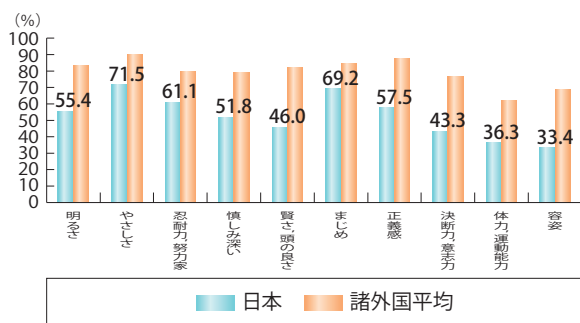
また、「やさしさ」「まじめ」といった点で自分に誇りを持っている若者の割合が高いものの、それらも含めすべての項目で諸外国の平均を下回っている。(図表4)

(2) 意欲

日本の若者は諸外国と比べて、うまくいくかわからないことに対し意欲的に取り組むという意識が低く、つまらない、やる気が出ないと感じる若者が多い。

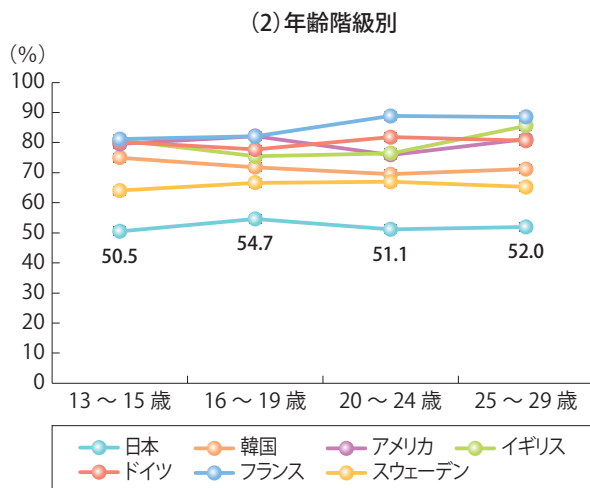
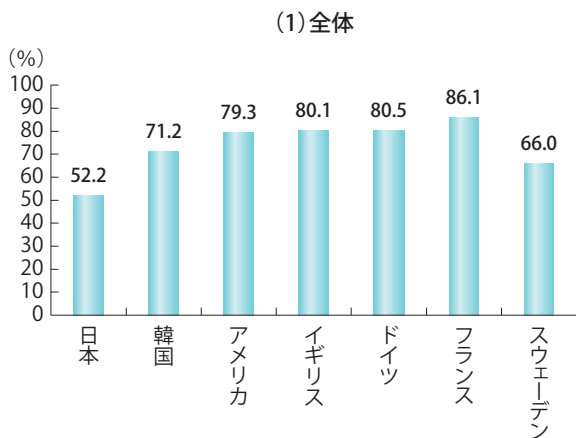
日本の若者のうち、うまくいくかわからないことに対し意欲的に取り組むとした者の割合は5割強で、諸外国と比べて低い。また、つまらない、やる気が出ないとした者の割合は8割弱で、諸外国と比べて高い。そうした傾向はいずれの年齢層でもみられる。(図表5, 6)

図表4 自分について誇りを持っているもの



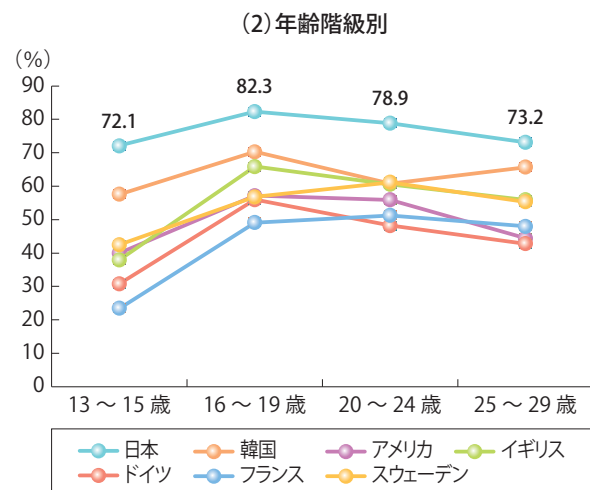
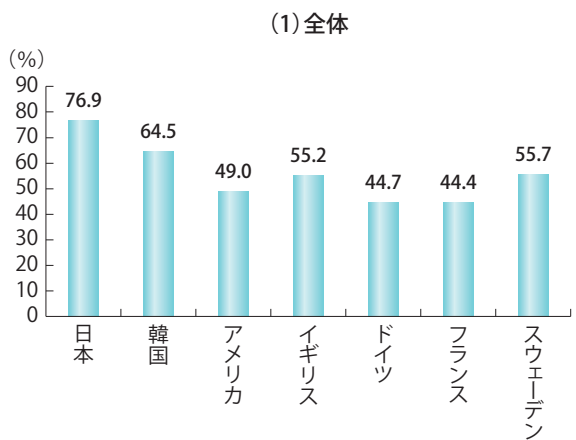
(注) 「あなたは、以下のそれぞれについて、誇りを持っていますか」との問いに対し、「誇りを持っている」「どちらかといえば誇りを持っている」と回答した者の合計。

図表5 うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



(注) 「次のことがあなたがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表6 つまらない、やる気が出ないと感じたこと



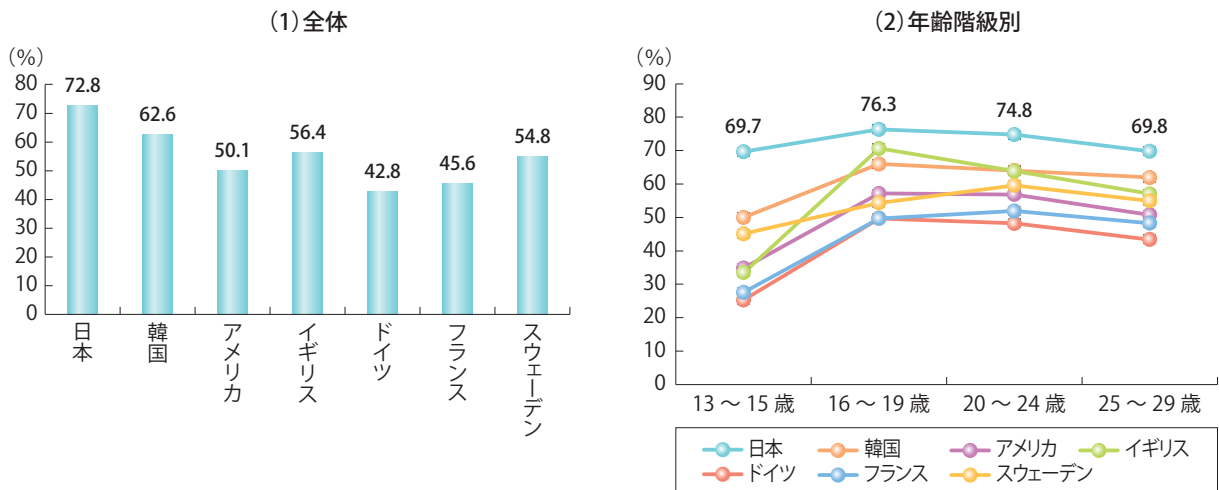
(注) この1週間の心の状態について「次のような気分やことに関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」との問いに対し、「つまらない、やる気が出ないと感じたこと」に「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。

### (3) 心の状態

日本の若者は諸外国と比べて、悲しい、ゆううつだと感じている者の割合が高い。

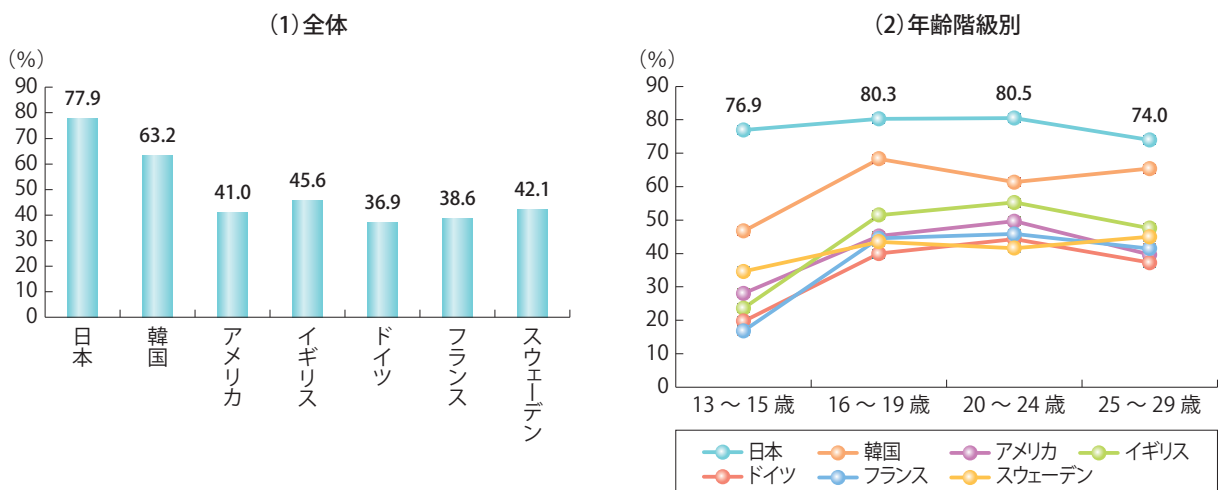
この1週間の心の状態について、悲しいと感じた日本の若者の割合は7割強、ゆううつだと感じた日本の若者の割合は8割弱で、いずれも諸外国と比べて相対的に高い。そうした傾向はどの年齢層でも同様にみられ、特に10代前半では突出して諸外国より高くなっている。(図表7, 8)

図表7 悲しいと感じた



(注) この1週間の心の状態について「次のような気分やことがらに関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」との問いに対し、「悲しいと感じたこと」に「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。

図表8 ゆうつだと感じた



(注) この1週間の心の状態について「次のような気分やことがらに関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」との問いに対し、「ゆううつだと感じたこと」に「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。